

美しい山形・最上川フォーラム

第 40 回 清流・環境対策部会及び最上川文化・地域経済活性化部会

日 時 平成 29 年 11 月 27 日（月）13：00～

場 所 緑町会館 4F 401 会議室

意見概要

次第 3 報告・協議

平成 29 年度部会事業実施状況報告

清流・環境対策部会

- 1 第 16 回身近な川や水辺の健康診断 了
- 2 第 15 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン 了
- 3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」 了

【補足】

・ スポ GOMI 大会は別紙 1 の通りの開催状況となっているが、各地区の皆様からも協力をいただき、開催できればと考えているので、今後ともご協力を賜りたい。

- 4 報告書「笑顔を写す山形の川」 了
- 5 広報啓発 了

最上川文化・地域経済活性化部会

- 1 最上川夢の桜街道づくり 了
- 2 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」了

【紹介】

・ 柴田会長提供の DVD の一部（山形県内 3 ヲ所）上映。

東北 6 県の札所をテレビユー福島が時間をかけて、それぞれの桜の美しいところを撮影してくれたもの。著作権はテレビユー福島にあるが、東北夢の桜街道で使うのなら、我々も使って良いと許可をいただいている。東北 6 県の札所が収録されていて 30 分以上かかるので、今日は時間の関係で山形県内の 3 ヲ所のみ見ていただいた。総会など時間のある時に通して見ていただきたいと思います。

- 3 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行 了
- 4 夢の桜街道キャンペーン 了
- 5 写真コンテスト受賞作品写真展 了
- 6 舟運文化シンポジウム 了

【補足置賜地域部会会員より】

・ 11 月 19 日に「未来に広がる最上川 2 2 9 シンポジウム」が盛大に開催され、大変素晴らしく、一定の成果が上がったのではないかと感じている。それに合わせて、昨年度作成した紙芝居「桜の守り人」が特選に選ばれたということで、我々は特に子供たちに川の文化、川の有効利用などを含めて広報活動をしていきたいと考えている。川に関する子たちと大人との関わりをつくっていききたいと順次準備に入っている。フォーラムの会長始め、事務局にも大変な協力をいただいて感謝したい。

- 7 ホームページの更新 了
- 8 地域おこしの紙芝居作成 了

地域部会

- ◇置賜地域部会 了
- ◇村山地域部会 了

【部会長より】

- ・村山地域部会としての独自の事業がなかなか進められていないが、様々、清流・環境対策部会や最上川文化・地域経済活性化部会事業の実施に携った。会員の皆様からもご意見をいただいて特色ある事業を進められたらと思っているので、よろしく願いたい。

- ◇最上地域部会 了
- ◇庄内地域部会 了

【部会長より】

- ・庄内地域部会長に今年から就いたばかりで何をしようかと考えているところであるが、自分の団体で、内川での活動を以前から長くやってきている。今年度も内川の水質調をやっている。また魚を調べてみたら、10年前からほぼ毎年行っているが、今年は特にすごい量のブルーギルとブラックバスの稚魚が獲れた。他の川の状況も調査したら興味深いのではないかと考えている。内川での水質の調査は鶴岡工業高等専門学校の小谷先生から指導を受けているが、同地点のS50年から53年の水質調査結果が残っていたので、現在との比較ができた。水質の良好な状態が進んでいる結果報告となった。データをどのように使っていくか考えている。

⇒

- ・以前フォーラムにも対応してくれないかと言うことで最上川のコクチバスの話が出たが、難しかった。あちこちで外来種の魚が増えていることは予測がつくが、漁業に影響する川鵜対策も深刻のようである。内川にブルーギル、ブラックバスの稚魚がたくさんいるということ、とてもショックなことである。
- ・これまで湖、ダム湖などでバスやブルーギルが増えているという話はたくさんあった。今あった最上川でのコクチバスが増えているということに加え、内川で増えていることを初めて聞いて生態系が変わってきていると実感した。ブルーギルやバスは流れの強いところには、あまり棲めないと聞いている。内川の場合は水草が生えている場所でのものだろうか。以前に話があった時、どのように対処したらいいか考えたが、具体的な策は見つからず、清流環境対策部会の事業として取り上げるのも難しいということで現在に至っている。逆に良いアイデア、ご意見があったら賜り検討させていただきたいのでよろしく願いたい。
- ・S50年頃のデータがあるという話について、一般の方はデータがあるのを知らない。そこで地域部会の活動の中で、どう良くなっているかなど、比較を薄い冊子でも良いのでまとめて印刷物にして、皆さんに公表して欲しい。可視化できれば、市や総合支庁の協力を得られるのではないだろうか。外来種についても同じように、具体的にどこにどれくらいいたかということデータを示せば、対策としてフォーラムだけではできないので、国土交通省・総合支庁・市町村等に対応を考えていかなければならなかった時に、最初のデータとして活用される可能性があるので、地域部会で可視化してもらいたい。ぜひ活動して見つけたものについては、他の人たちも見える形で部会として提供していただければありがたい。そうすれば他の団体や行政などからも協力いただき、皆さんが期待しているような本格的な活動へと繋がっていくのではないかなと思う。
- ・清流環境対策部会：情報を提供するのがまず先かと思う。内川のS53年のデータをまとめてもらい、庄内地域部会報告としてフォーラムのホームページに上げていくなど検討したい。ブルーギル、ブラックバスについても、警鐘を鳴らすという意味で事実として、庄内地域部会からの結果としてホームページに掲載してはどうか検討したい。庄内地域部会から情報提供をお願いしたい。

総会・運営委員会・部会

- ・通常総会の開催 了
- ・運営委員会の開催 了
- ・合同部会の開催 了

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 平成29年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務委託

- 2 スポ GOMI 大会運営業務委託
- 3 やまがた社会貢献基金（協働助成事業（テーマ希望型））
- 4 やまがた社会貢献基金（協働助成事業（テーマ希望型））
- 5 水環境保全助成事業
- 6 「東北夢の桜街道」寄付金
- 7 eco 保険証券・Web 約款寄付活動寄付金
- 8 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- 10 「美しい多摩川フォーラム」との連携事業
- 11 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。

次第 4 その他

【情報提供】

・昨年、「もがみがわ水環境発表会」で 17 年から 28 年までの身近な川や水辺の健康診断、水生生物調査等のまとめを発表させていただいた。今年、山形県立博物館友の会の共同企画展「私たちのたからもの」でこの発表を展示参加することになった。この企画展は 12 月 16 日～2 月 18 日の日程で開催。12 月 23 日 13:30 からの展示解説会にも参加させていただき予定。見に来ていただきたい。

⇒みなさんの活動がまとまった・発表するなど、情報がある場合は、フォーラムのホームページに掲載して広報の手伝いができるので、お知らせいただきたい。

・次年度事業への要望など

【意見】

・1 県 1 河川、540 を超える支流を抱えて県内を縦断しているという全国でも特有の最上川を抱えている県として、歴史・文化の痕跡の顕在化に取り組んでいくことが重要なのではないかと感じている。川辺には行政・地域センターの盛り上がりによって、ミニ公園が整備されたり、道標・石碑などがある。中でも 24 か所の船着場や三難所、黒滝、五百川溪谷など、船曳の痕跡なども残っている。風化されているものもあるが、そういった所があったということを整備する運動が今、必要なのではないかと感じている。例えば、白鷹町の黒滝会、朝日町エコミュージアム協会、自分の最上川故里ミュージアム（村山市）など、地域のグループとして、当該の地域コミュニティセンター等と協力しながら関わりができるのではないだろうか。川での根強い運動として、自分たちの世代が手掛ける時が来ているのではないかと感じている。

⇒それぞれの場所でのそれぞれの活動を 229km 全部まとめてはどうかという提案で、非常に良いことだと思う。誰がどうやるかということが一番のポイントである。地域ごと地域部会の枠の中でできたものを全体としてまとめていくことはできると思う。地域部会の事業として、金額は少ないかもしれないが、活動資金は出すことができる。既存の活動している方々が必ずしもフォーラムの会員ではないので、その方々からの協力をいただくためにも地元の人達が中心になって動いていただきたい。今まであった蓄積を活かすといことはやぶさかでないので、できるだけ地域部会の事業として、できることから取り組んでいただければありがたい。

・229 km 全体をまとめること自体も価値があるのではないかと感じる。来年度の事業としても要望としてお聞きしておきたいと考えている。

どこにどんな資料があるのかをまずはお聞きして調べてなければならぬのではないかと感じている。来年度の取り組みにおいて、企画を考えてみたい。

【意見】

・先ほどの自然環境の話の中でブラックバスが発生していることは心痛むこと。川鵜は人が天敵であり、かつては釣りや漁をしていることで防ぐことができていた。川は人を関わらせないといけないのではないかと感じる。来年度からはスポーツを取り入れたことができないか考えている。来年度、地域部会（置賜）で取り上げるか暗中模索中であるが、フォーラムとしても後押し

いただけることがあれば検討いただきたい。それによって最上川には新しい人々の関わりが出てくるのが大きな狙いである。ご指導いただきたい。

⇒清流環境対策部会では現状を把握し提示する役割があるのではないかと思う。次年度予算の限りもあるが、どういうやり方をしていくか考えていきたい。